

2012 年度 事業方針

2012 年度の「動く → 動かす」の事業方針を、運営、パブリック・モビリゼーション、政策、TICAD の 4 つに分けて以下、紹介いたします。

運営	目標	<ul style="list-style-type: none"> 2012 年 9 月～2013 年 9 月は、MDGs の達成・よりよいポスト MDGs 開発目標の実現にとって最も重要な時期である。この時期において、「動く → 動かす」の総力を挙げ、MDGs の達成に向けた日本の努力を増大させるとともに、ポスト MDGs において世界の貧困の解消が引き続き最優先課題となるようにする。 上記にとって最も効率的で最も参加を拡大できるような組織体制を実現する。 「動く → 動かす」への加盟団体数の増加や、加盟団体による「動く → 動かす」の活動への実質的な参加の拡大を実現する。 「動く → 動かす」の持続的な財政基盤を確立する。
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> 2012 年 9 月～2013 年 9 月にかけての開発関係の各種のイベントについて、MDGs の実現、ポスト MDGs の改善にむけた積極的な働きかけを追求する。 より効率的かつ参加の拡大・連携の拡大を実現できる組織体制を作るための組織改革を実施する。 日本の民間財団や各種セクターとの関係を強化し、「動く → 動かす」の活動への理解を深め、財政的な支援を確保する。
パブリック・モビリゼーション	目標	<ul style="list-style-type: none"> スタンド・アップに 47 都道府県から 3 万人以上の人々が参加する。 主に首都圏以外の地域におけるスタンド・アップ実施協力拠点を構築する。 スタンド・アップの企画運営にたずさわるボランティア体制を構築する。 スタンド・アップにおける他分野(国際協力分野以外)との連携を拡大する。 スタンド・アップに対する加盟団体のかかわりを強化する。 2013 年のモビリゼーション計画を策定する。
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> イベント企画運営ボランティアによるスタンド・アップ イベントを実施する。 イベント企画運営ボランティアを中心としたアドボカシー基礎講座を開催する。 公募ガイドを活用した「ご当地スタンド・アップ」を実施する。 加盟団体からスタンド・アップ応援メッセージを集め、ウェブサイトに掲載する。 異分野ネットワークを目的としたスタンド・アップ メインイベントを開催する。 モビリゼーション活動の効果を高めるため、政策チームと適宜連携をとる。 2013 年度のモビリゼーション計画を立案する。
政策	目標	<ul style="list-style-type: none"> ODA 予算がさらに増額し、MDGs 達成への貢献度が向上する ポスト MDGs に関する国内論議が、貧困層の存在を軸とし、衡平性を重視し、権利ベースで、正義にかなったものとなる 動く → 動かす及び加盟団体が新たな開発課題やトレンドに関する政策的知見を深める 外務省以外のステークホルダーとの関係が強化される チーム体制が強化される
	実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ODA 予算プロセスへの積極的なアドボカシー ポスト MDGs 意見交換会その他のプロセスへの関与。国内市民社会の意見をリード、集約。 「普及」プロジェクトを通じ、食料、気候変動、租税・財政改革など、新たな開発課題に関する議論の整理と吸収、加盟団体への還元を行う。 JICA、財務省、議員、メディアとの関係構築を積極的に行う。 チーム内リーダーシップの育成。

T I C A D	目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2013年6月のTICAD Vに向け、TICAD に関する市民社会や他セクターの関心を拡大する。また、TICAD に向けた社会各セクターのファシリテーションに取り組む。 ・ CCfA を中核に、アフリカ市民社会の、より大きくなおかつ多様な TICAD プロセスへの参加を確保する。 ・ TICAD V に関する重要なイシュー(経済成長・雇用、食料安全保障、ポスト MDGs、気候変動・防災等)について十分な知識・能力を確立し、アドボカシーに生かす。
	実 施 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「TICAD V に向けた外務省・NGO 対話」の NGO 側事務局の役割を果たす。 ・ 11月のTICAD Vに向けた高級実務者会合(ブルキナ・ファソ)、3月のTICAD V 閣僚会議(エチオピア)に向けた日本・アフリカの市民社会の参加を実現する。 ・ TICAD 共同主催者(外務省、国連・国連開発計画・世銀・アフリカ連合委員会)や JICA、在京アフリカ外交団との連携を強化する。 ・ TICAD V に向けた市民社会の関心の拡大、在日アフリカ人移民など各種セクターの関心を強化し、参加の拡大を果たす。

以上